

Ⅲ 届出書記入要領

1 届出書記入要領

様式第1（第3条関係）（表面）〔記入例〕

① 特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

② 年 月 日

大分県知事 ○○ ○○ 殿

③ 届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 ○○市○○町○-○
株式会社○○
代表取締役 ○○ ○○
(TEL 000-000-0000)

④ 水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称 ⑤		株式会社○○ 大分工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地 ⑥		○○市○○町○-○	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類 ⑦	○○-○ ○○○○	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無 ⑧	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ⑨	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限つて欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

記入要領【様式第1】（表面）

① 届出の種類

届出様式は、特定施設並びに有害物質貯蔵指定施設の設置届、使用届及び変更届で兼用となっているので、該当しない部分を二重線で消して届け出ること。

（例）特定施設の設置届を行う場合

特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）~~設置~~（使用、変更）~~届出書

② 年月日

届出年月日を記入すること。

③ 届出者の氏名等

届出者の氏名又は名称及び住所等を記入し、法人の場合は、その代表者の氏名を併せて記載すること。なお、届出者が法人等の代表者でない場合は、代表者から届出者への委任状を添付すること。

④ 届出に係る根拠条文

該当しない条項を二重線で消して届け出ること。

（該当する根拠条文）

特定施設の設置届の場合 第5条第1項（又は第2項並びに第3項）

特定施設の使用届の場合 第6条第1項（又は第2項）

有害物質貯蔵指定施設の設置届の場合 第5条第3項

有害物質貯蔵指定施設の使用届の場合 第6条第1項

特定施設及び有害物質貯蔵指定施設の変更届の場合 第7条

⑤ 工場又は事業場の名称

特定施設を設置しようとする工場又は事業場の名称を記入すること。

⑥ 工場又は事業場の所在地

特定施設を設置しようとする工場又は事業場の所在地を記入すること。

⑦ 特定施設の種類、有害物質使用特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令別表第一に掲げる号番号及びその名称を記入すること。

（V参考資料の1特定施設一覧表165頁～を参照）

⑧ 有害物質使用特定施設の該当の有無

該当する欄にレ点を記入すること。

記入要領【様式第1】（裏面）

⑨ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別

第5条第3項の場合のみ、該当する欄にレ点を記入すること。

申請の概要

※今回、届出及び申請をするに至った理由を記入すること。変更の場合は、変更内容を併せて記入すること。

備考 申請の目的及び特定施設、汚水等処理施設等に関する申請の概要について記入するとともに、排水量及び負荷量の増減については、概要を記入し、なるべく排水口ごとに表にまとめること。

特定事業場の概要					
資本金	円	従業員数	人	業種	
				産業分類細分類番号	
主要生産品目及び月生産量					
主要原材料の品目、用途及び使用量					
特定施設の種類及び数					
作業工程					
排水処理の方法及びその系統図					
担当者	課		TEL		(内線)

備考 申請前と申請後で上記の内容が異なるものについては、申請前及び申請後に分けて記入すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号 ①	1	
特定施設番号及び名称 ②	〇〇-〇 〇〇〇〇	
型 式 ③	〇〇式	
構 造 ④	ステンレス製 (角型) (図△参照)	
主 要 寸 法 ⑤	縦〇m×横〇m×高さ〇m 3基	
能 力 ⑥	〇〇処理量 各〇〇kg/時	
配 置 ⑦	別図〇のとおり	
設 置 年 月 日 ⑧	一年 一月 一日	年 月 日
工事着手予定年月日⑨	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日⑨	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日⑨	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項 ⑩	3基設置	

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

記入要領 [別紙 1]

① 工場又は事業場における施設番号

工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定する番号等を記入すること。名称があれば、併せて記入すること。

② 特定施設番号及び名称

水質汚濁防止法施行令別表第一に掲げる号番号及びその名称を記入すること。
(V参考資料の1 特定施設一覧表 165頁～を参照)

③ 型式

自動式、回転式等施設の型式をメーカーのカタログ等で確認し、記入すること。また、施設に商品名等の名称があれば記入すること。

④ 構造

ステンレス製、FRP製等その材質及び円筒、角形等その物理的形態を記入すること。また、詳細を構造図により明らかにすること。

⑤ 主要寸法

施設の縦、横、高さ等の寸法を、単位とともに記入すること。

⑥ 能力

時間(1日)当たり又は1バッチ当たりの処理能力を記入すること。

⑦ 配置

配置図により明らかにすること。

⑧ 設置年月日

特定施設使用届又は構造等変更届を行う場合に、記入すること。特定施設設置届の場合には、本欄の記入は不要である。

⑨ 工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日

特定施設設置届又は構造等変更届の場合に、工事着手、工事完成、使用開始のそれぞれの予定年月日を記入すること。原則として、特定施設設置届又は構造等変更届を提出し、受理されてから60日間は、工事に着手できないので、工事着手予定年月日は受理されてから60日以降の日になるように記入すること。また、工事実施制限期間の短縮を希望する場合は、その旨を「⑩その他参考となるべき事項」に記入し、工事着手希望年月日として記入すること。

⑩ その他参考となるべき事項

特定施設と同型の施設を同時に複数設置する場合に、その施設数を記入すること。同型の施設について、個々に構造等を記入する必要はない。

当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。防液堤等については、可能な場合には容量を記入すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号 ①	1	
特定施設番号及び名称 ②	〇〇-〇 〇〇〇〇	
設 備 ③	地上配管 排水溝 ためます	
構 造 ④	配管：ステンレス製 排水溝、ためます： コンクリート製 厚さ〇mm	
主 要 寸 法 ⑤	配管：直径〇mm×〇m 排水溝： 幅〇m×深さ〇mm×〇m ためます： 縦〇m×横〇m×高さ〇m	
配 置 ⑥	別図〇のとおり	
設 置 年 月 日 ⑦	一年 一月 一日	年 月 日
工事着手予定年月日⑧	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日⑧	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日⑧	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項 ⑨		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

記入要領〔別紙1の2〕

※有害物質使用特定施設でない場合には当該用紙の提出は不要である。

① 工場又は事業場における施設番号

別紙1①に同じ。

② 特定施設号番号及び名称

別紙1の②に同じ。

③ 設備

施設に付帯する配管、排水溝、ためます等の設備名を記載すること。

④ 構造

設備欄に記載した設備について、ステンレス製、コンクリート製等の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨を記載すること。

また、詳細を構造図により明らかにすること。配管については地下配管（トレンチ）の場合はトレンチの構造についても記載すること。

⑤ 主要寸法

設備のうち主なものについて、縦、横、高さ等の寸法を単位とともに記入すること。

⑥ 配置

設備が設置されている建物の名称・位置等を記載し、配置図により明らかにすること。また、地下に設置されている場合はその旨を記載すること。

⑦ 設置年月日

別紙1の⑧に同じ。

⑧ 工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日

別紙1の⑨に同じ。

⑨ その他参考となるべき事項

有害物質を含む水が流れない配管等がある場合には、その旨を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号 ①	1				
特定施設号番号及び名称 ②	〇〇-〇 〇〇〇〇				
設置場所 ③	別図〇のとおり				
操業の系統 ④	別図〇のとおり				
使用時間間隔 ⑤	連続 (又は間けつ)				
1日当たりの使用時間 ⑥	9時～17時 8時間				
使用の季節的変動 ⑦	なし (又は有:(例)夏季は8時～18時 10時間)				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量 ⑧	〇〇〇〇 〇〇kg 〇〇〇〇 〇〇kg				
汚水等の汚染状態 ⑨	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	〇.〇～〇.〇	〇.〇～〇.〇		
	BOD	〇〇	〇〇		
	COD	〇〇	〇〇		
	SS	〇〇	〇〇		
	T-N	〇〇	〇〇		
	T-P	〇〇	〇〇		
	〇〇	〇〇	〇〇		
汚水等の量 (m ³ /日) ⑩	通常	最大	通常	最大	
	〇〇	〇〇			
その他参考となるべき事項 ⑪	製造・使用・処理している有害物質及び使用量 〇〇g				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記入要領〔別紙2〕

① 工場又は事業場における施設番号

別紙1の①に同じ。

② 特定施設号番号及び名称

別紙1の②に同じ

③ 設置場所

配置場所図により明らかにすること。

④ 操業の系統

「特定施設を含む操業の系統」について、操業系統図により明らかにすること。

⑤ 使用時間間隔

「連続」か「間けつ」かを記入すること。

⑥ 1日当たりの使用時間

1日の使用時間の合計を記入すること。

⑦ 使用の季節的変動

「特定施設の使用に季節的変動がある場合に、その概要」を記入すること。

⑧ 原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設を含む作業工程において、使用する原材料（有害物質、消耗資材を含む。）の種類、1日当たりの使用量、使用方法について、次のことに留意し、できるだけ詳細に記入すること。

なお、欄に記入できない場合は、別紙として添付すること。

- ・ 種類は、原材料、薬品名等を記入し、商品名を記載するときは、主たる成分の名称を記入すること。
- ・ 1日当たりの使用量は、単位を明確に記入すること。
- ・ 使用方法は、原材料の使用目的、使用方法及び使用するときの濃度等を記入すること。

⑨ 汚水等の汚染状態

「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態（当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項に限る。）」を記入すること。pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

なお、事業場の通常の排水量が50m³/日未満の場合は、特に記入しなくてよい。

⑩ 汚水等の量

当該特定施設から排出される汚水等の量で、その汚水等が処理されるかどうかにかかわらず、その全量を記入すること。また、汚水等の一部あるいは全部を循環しようとする場合であっても、その全量を記入し、「その他参考となるべき事項」欄にその概要を記入すること。

⑪ その他参考となるべき事項

当該施設から出る汚水を公共下水道に排除する場合、廃棄物として委託処理する場合又は地下浸透させる場合には、その旨記入すること。

また、当該特定施設において製造、使用、処理している有害物質（水質汚濁防止法第2条関係）について、記入すること。当該特定施設以外の施設及び工程等で有害物質を使用している場合にも、その物質名や使用量等を記入すること。

特定施設の使用の方法について、その他参考になるべき事項があれば記入すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号 ①	1								
処理施設の設置場所 ②	別図〇のとおり								
設置年月日 ③	一年 一月 一日	年 月 日							
工事着手予定年月日 ④	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日							
工事完成予定年月日 ④	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日							
使用開始予定年月日 ④	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日							
種類及び型式 ⑤	生物化学的処理								
構造 ⑥	鉄筋コンクリート造								
主要寸法 ⑦	別紙〇のとおり								
能力 ⑧	〇〇m ³ /日								
処理の方式 ⑨	活性汚泥方式								
処理の系統 ⑩	別図〇のとおり								
集水及び導水の方法 ⑪	塩ビ管及びコンクリート製汚水桝								
使用時間間隔 ⑫	連続								
1日当たりの使用時間 ⑬	24時間								
使用の季節変動 ⑭	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量 ⑮	塩素剤 〇〇kg 中和剤 〇L								
汚水等の汚染状態及び量 ⑯	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	〇.〇~ 〇.〇	〇.〇~ 〇.〇	〇.〇~ 〇.〇	〇.〇~ 〇.〇				
	BOD	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
	COD	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
	SS	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
	T-N	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
	T-P	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇				
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
量 (m ³ /日)	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法⑰	汚泥〇〇kg 業者委託								
排出水の排出方法 ⑱	別図〇のとおり (排水口1)								
その他参考となるべき事項⑲	汚泥処理 〇〇環境(株)								

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排水先を含め記載すること。

記入要領〔別紙3〕

① 工場又は事業場における施設番号

別紙1の①に同じ。

② 処理施設の設置場所

設置場所図により明らかにすること。

③ 設置年月日

法第6条第1項及び第2項の規定に基づき、特定施設の使用の届出を行う場合に、当該特定施設からの排水の処理施設の設置年月日について記入すること。

なお、法第5条第1項に基づく特定施設の設置の届出及び法第7条に基づく特定施設の構造等の変更の届出の場合には、本欄の記入は不要。

④ 工事着手、工事完成、使用開始予定年月日

汚水等処理施設の設置又は構造変更の場合に記入すること。工事着手予定年月日の取扱いについては、別紙1の⑨に同じ。

⑤ 種類及び型式

生物化学的処理、物理化学的処理等の種類及び型式を記入すること。また、メーカー名及び商品名等の名称があれば併せて記入すること。

⑥ 構造

鉄筋コンクリート製、FRP製等施設の材質を記載し、構造図を添付すること。

⑦ 主要寸法

汚水処理施設の主な処理槽等の寸法及びその数を記入すること。

⑧ 能力

時間（1日）当たり又は1バッチ当たりの処理能力（水量）を記入すること。浄化槽については、併せて処理対象人員を記入すること。

⑨ 処理の方式

長時間ばっ気方式、加圧浮上方式（連続式）等具体的に記入すること。

⑩ 処理の系統

処理の系統図により明らかにすること。

⑪ 集水及び導水の方法

「床面排水を集水溝で集め、塩ビ製埋設管で処理施設まで導水する。」等具体的に記入すること。

⑫ 使用時間間隔

別紙2の⑤に同じ。

⑬ 1日当たりの使用時間

別紙2の⑥に同じ。

⑭ 使用の季節的変動

別紙2の⑦に同じ。

⑮ 消耗資材の1日当たりの用途別使用量

消耗資材の名称、用途、1日当たりの使用量を記入すること。また、商品名を記載するときは、主成分や組成がわかるように記入すること。

⑯ 汚水等の汚染状態及び量

「汚水等の処理施設の使用時における処理前及び処理後の当該汚水の汚染状態の通常値及び最大の値、通常量及び最大量」を記入すること。「種類・項目」欄については、当該特定事業場に関係する種類・項目について、その汚染状態の値を記入すること。pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

なお、事業場の通常排出水量が50m³/日未満の場合は、汚染状態の値は特に記入しなくてもよい。

⑰ 残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法

汚水等の処理により生ずる汚泥等の残さの1か月当たりの生成（発生）量とその処理方法を記載すること。

⑱ 排出水の排出方法

処理水が排出される排水口番号を記入し、排出される経路等を図により明らかにすること。

⑲ その他参考となるべき事項

残さの処理方法について、業者等に委託する場合、委託先の処理業者名を記入すること。また、汚水等の処理の方法について、その他参考となるべき事項があれば記入すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号 ①		排水口 1			
排出水の汚染状態 ②	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH	〇.〇~〇.〇	〇.〇~〇.〇	
	BOD	〇〇	〇〇		
	COD	〇〇	〇〇		
	SS	〇〇	〇〇		
	T-N	〇〇	〇〇		
	T-P	〇〇	〇〇		
	〇〇	〇〇	〇〇		
排水水の量 ③		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇		
その他参考となるべき事項 ④		排水処理施設 1 → 排水口 1 → 側溝 → 〇〇川			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

記入要領 [別紙 4]

① 工場又は事業場における施設番号（排水口番号）

当該排水口を特定する排水口番号（別紙 3 ⑱と同一のもの）を記入すること。また、排水口名がある場合は、併せて記入すること。

なお、公共下水道に接続している場合、汚水管（汚水柵）に流す排水については、水質汚濁防止法では排水水として扱わないので、①、②欄には記載せず、④「その他参考となるべき事項」欄に記入すること。

② 排水水の汚染状態

当該特定事業場の排水口ごとの排水水の水質について、通常及び最大の値を記入すること。この場合、特定施設から排出される汚水だけでなく、特定施設に関連しない汚水についても合計した値を記入すること。

pH、大腸菌数を除き、単位はmg/Lとする。

雨水専用排水口における排水水の量については、通常の欄に0 m³/日と記載し、最大の欄には、記入しないこと。

なお、事業場の通常の排水水量が50 m³/日未満の場合は、汚染状態の値は特に記入しなくてもよいが、水量に関わらず、当該特定施設において製造、使用、処理している有害物質について記入すること。また、当該特定施設以外の施設及び工程等で有害物質を使用している場合にも、その物質を記入すること。ただし、記入した有害物質が廃棄物として委託処理される場合や、クローズドシステム等によって廃液が排水水として通常排出されない場合は、通常・最大の欄には「定量限界値未満」と記入すること。

③ 排水水の量

当該特定事業場の排水口ごとの排水水の量について、通常及び最大の量を記入すること。

④ その他参考となるべき事項

排水口から主要な河川（例えば一級河川）、海域までの排水経路を具体的に記入すること。

排水水の汚染状態及び量について、その他参考となるべき事項があれば記入すること。

排水の排出系統別の汚染状態及び量

		指定項目の別				① COD				※
	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)			汚濁負荷量 (kg/日) ③			
		通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}		
特定排水 ②	〇〇業 (〇〇)	10	15	20	30			30	0.3	0.45
	し尿浄 化槽 (〇〇)	20	25	1	2			2	0.04	0.05
	合計			21	32			32	0.34	0.5
特定排水 以外の排水 ④	種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)				
		通常	最大	通常	最大	通常	最大			
	冷却水	1.2	2.0	1	2	0.002	0.004			
④	合計			1	2	0.002	0.004			
そ の 他 の 参 考 事 と 項 ⑤										

- 備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。

記入要領 [別紙5]

* 別紙5は、排水水を瀬戸内区域（鶴御崎より北側）に排出する特定事業場であって、通常の排水水量が $50\text{m}^3/\text{日}$ 以上の事業場のみ記入すること。

① 指定項目の別

化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量（T-N）又はりん含有量（T-P）と記入すること（指定項目ごとに別葉とすること）。

② 特定排水水

「業種名その他の区分」欄には、表（化学的酸素要求量に係る総量規制基準等：24頁～を参照）により、項番号及び業種その他の区分をその区分ごとに記入すること。

「特定排水水の化学的酸素要求量（窒素含有量又はりん含有量）に関する汚染状態の通常の値及び最大の値並びに特定排水水の通常の水量及び最大の水量」をそれぞれの区分ごとに記入すること。

この場合、特定施設から排出される汚水だけでなく、特定施設に関連しない汚水も記入すること。水量の記入に当たっては、小数点以下を切り上げること（例： $44.3 \rightarrow 45\text{m}^3/\text{日}$ ）。

なお、それぞれの区分の「最大の水量」については、次のとおりQの各欄に内訳を記入すること（単位： $\text{m}^3/\text{日}$ ）。

(1) 化学的酸素要求量

Qco：特定排水水の量（Qci及びQcjを除く。）

Qci：昭和55年7月1日から平成3年6月30日までの間に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水水の量

Qcj：平成3年7月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水水の量

(2) 窒素含有量

Qno：特定排水水の量（Qniを除く。）

Qni：平成14年10月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水水の量

(3) りん含有量

Qpo：特定排水水の量（Qpiを除く。）

Qpi：平成14年10月1日以後に許可の申請等がされた特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排水水の量

③ 汚濁負荷量

汚濁負荷量は次のとおり算出すること。

通常の汚濁負荷量（kg/日）＝通常の汚染状態（mg/L）×通常の水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ）

最大の汚濁負荷量（kg/日）＝通常の汚染状態（mg/L）×最大の水量（ $\text{m}^3/\text{日}$ ）

④ 特定排水水以外の排水水

「特定排水水以外の化学的酸素要求量（窒素含有量又はりん含有量）に関する汚染状態の通常の値及び最大の値並びに通常の水量及び最大の水量」を記入すること。

⑤ その他参考となるべき事項

雨水は排水水量に含めないが、雨水専用排水口がある場合は、その旨記入すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量について、その他参考となるべき事項がある場合は記入すること。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統 ①</p>	<p>別図〇のとおり</p>		
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途 ②</p>	<p>使用水 ③</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>
	<p>製造用水</p>	<p>地下水</p>	<p>〇〇</p>
	<p>生活用水</p>	<p>上水道</p>	<p>〇〇</p>

記入要領【別紙6】

① 用水及び排水の系統

当該特定事業場における用水及び排水の系統について、経路図により明らかにすること。

② 用途

用水の使用用途（ボイラー用水、原料用水、洗浄水、冷却水等）を記入すること。

③ 使用水

用水の種類（上水道、工業用水、温泉水、地下水、河川水、海水等）を記入すること。

添付書類

以下の書類の添付が必要です。

① 特定施設に係る主要機械装置の構造及び配置図

特定施設の平面図、断面図については、パンフレット等で構造が明示されたもの、及び当該特定施設とこれに関連する主要機械又は装置の作業場での位置が明示されたものを添付すること。

② 配置場所図及び操業系統図

事業場の見取図に特定施設の設置場所を明示（施設番号を併記）するとともに、特定施設を含む操業をフロー図として明示すること

③ 排水処理に係る主要機械装置の構造図及び配置図並びに設計計算書

調整槽、ばっ気槽、沈殿槽等の平面図、断面図及び設計計算書を添付すること。

④ 配置場所図及び処理の系統図

事業場の見取図に汚水処理施設の設置場所を明示するとともに、汚水処理の方法をフロー図として明示すること。

⑤ 用水、排水等の経路図

事業場内及び建屋内の用水（水道水、地下水等）・排水の経路を明示すること。

⑥ 排水口の位置図

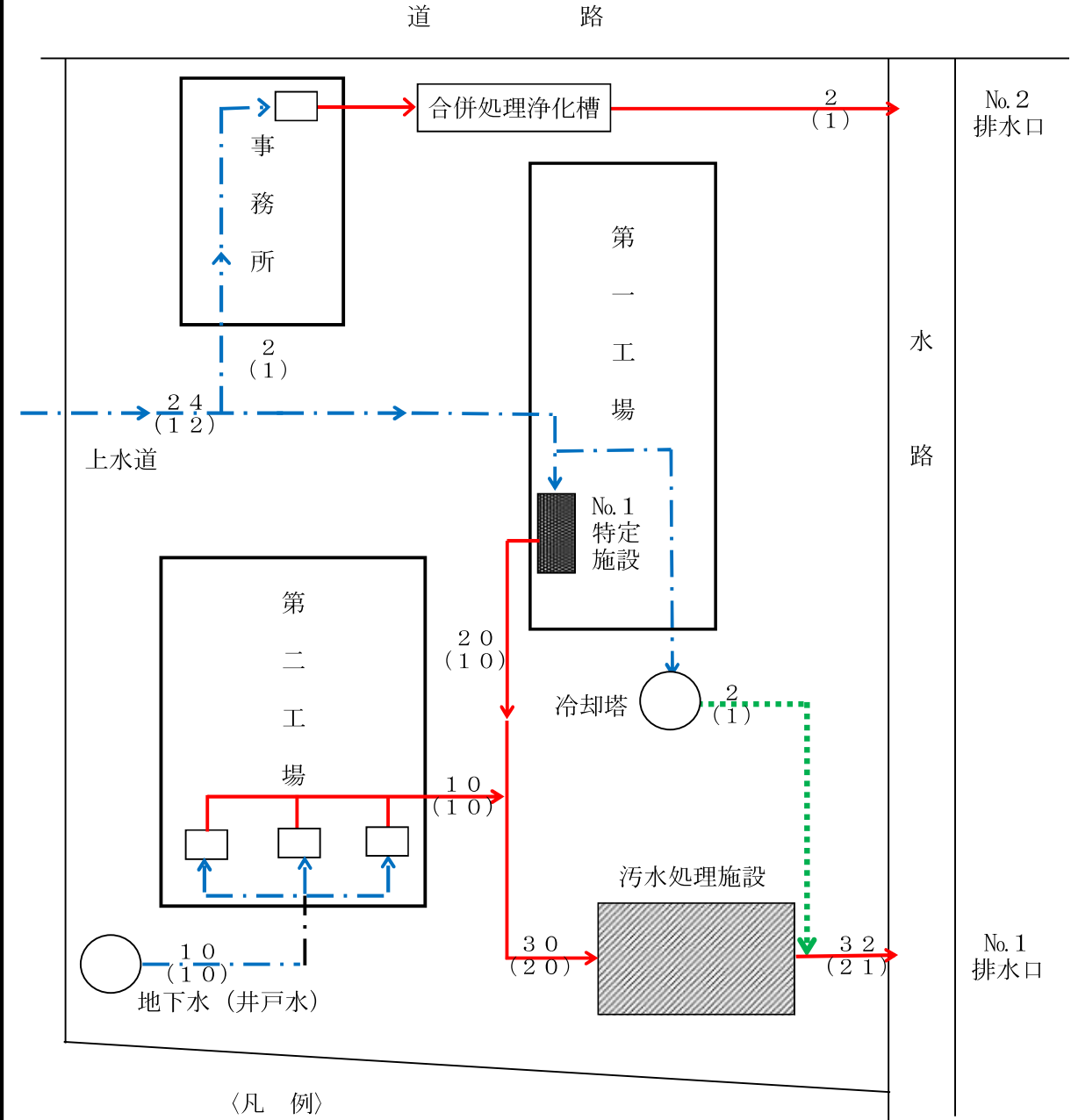
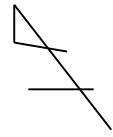
排水口（雨水専用排水口を含む。）の位置を明示するとともに、排水口番号を併記すること。

⑦ 事業所周辺の見取図

概ね 1/50,000 から 1/5,000 の地図に事業場の場所を明示するか、付近見取図を添付すること。

添付図面の記載例(1)

- (1) 特定施設及び污水处理施設の設置場所図
- (2) 用水、汚水等の経路図
- (3) 排水口の位置図

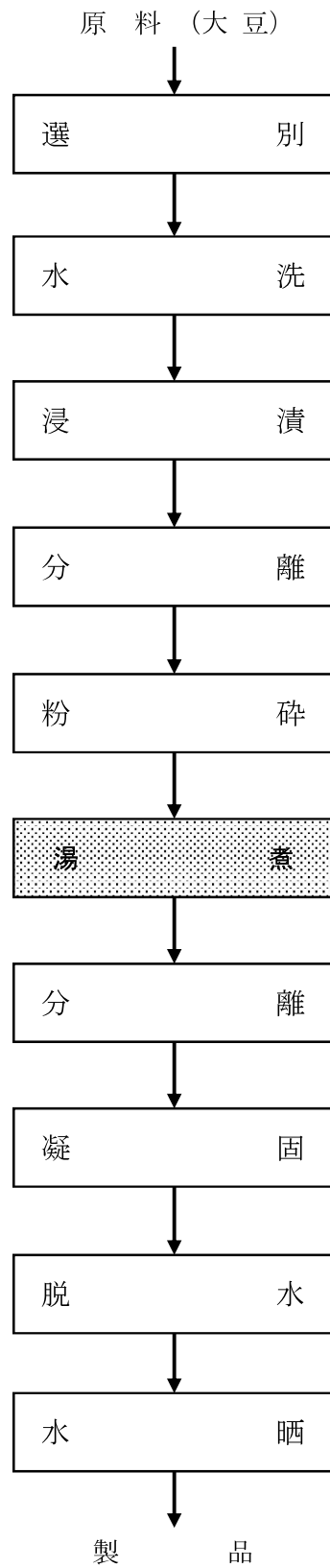



〈凡 例〉

- 特定排水水 (赤)
 - ⋯ 冷 却 水 (緑)
 - · - · 用 水 (青)
- } 色分けして記入すること。
- $\frac{24}{(12)}$ 最大水量 (m³/日)
 通常水量 (m³/日)

添付図面の記載例(2) (豆腐製造業の場合)

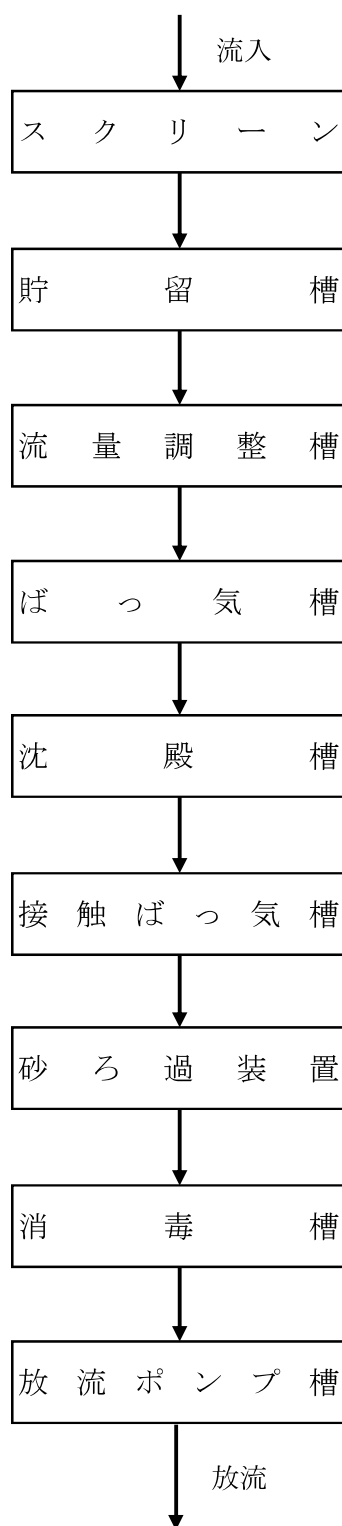
操業系統図



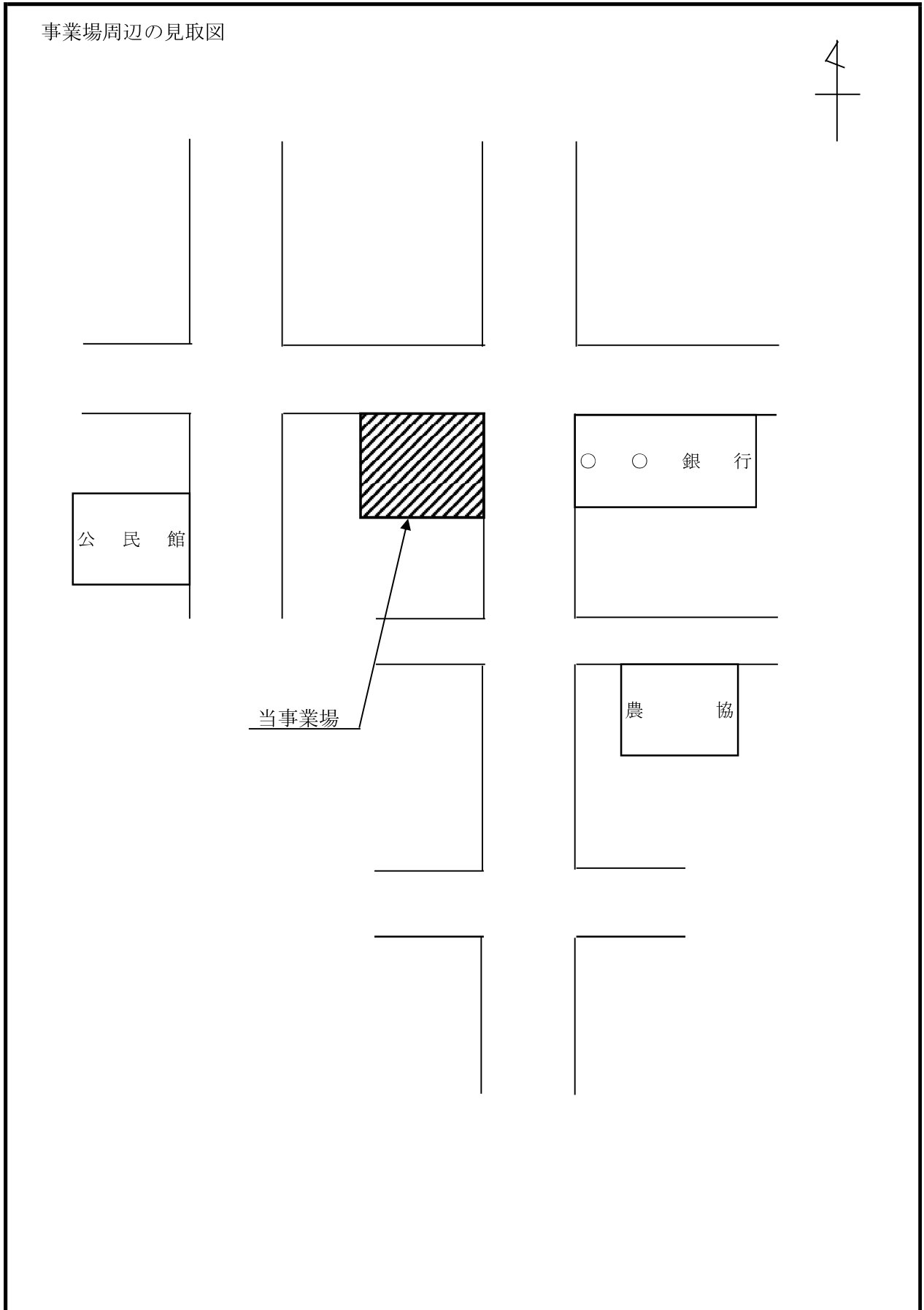
 特定施設

添付図面の記載例(3)

処理の系統図



添付図面の記載例(4)



別紙12[記入例]

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号 ①	1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害物質貯蔵指定施設	
型 式 ③	貯蔵タンク（〇〇製）	
構 造 ④	ステンレス製（構造図△参照）	
主 要 寸 法 ⑤	直径〇〇mm×高さ〇〇mm 〇基	
能 力 ⑥	貯蔵量 各〇〇L	
配 置 ⑦	別図〇のとおり	
床 面 及 び 周 圍 ⑧	床面は厚さ100mmのコンクリートで、エポキシ樹脂で被膜 周囲には防疫堤を設置し流出を防止（貯留量〇m ³ ）	
設 置 年 月 日 ⑨	一年 一月 一日	年 月 日
工事着手予定年月日⑩	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
工事完成予定年月日⑩	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
使用開始予定年月日⑩	令和〇年 〇月 〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

記入要領〔別紙 1 2〕

- ① **工場又は事業場における施設番号**
別紙 1 の①に同じ
- ② **有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別**
該当するものを記入すること。
- ③ **型式**
メーカー名、機種名等、施設を特定できる内容を記入すること。
- ④ **構造**
施設の主要部分の材質を記載し、構造図を添付すること。
- ⑤ **主要寸法**
設備について、縦、横、高さ等の寸法を単位とともに記入すること。
- ⑥ **能力**
貯蔵タンクであれば貯蔵量等、処理能力を記入すること。
- ⑦ **配置**
配置図等を添付すること。地下構造などの場合、その旨を記入し、必要に応じ、設備の立体図も添付すること。
- ⑧ **床面及び周囲**
施設の設置される床面やその周囲の構造、材質等を簡潔に記載すること。施設構造図を添付し、防液堤等の漏洩防止措置とその内側（有害物質に触れる恐れのある範囲）の材質等を記入すること。
- ⑨ **設置年月日**
別紙 1 の⑧に同じ。
- ⑩ **工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日**
別紙 1 の⑨に同じ。

別紙13[記入例]

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号 ①	1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害貯蔵指定施設	
設 備 ③	地上配管、バルブ、フランジ	
構 造 ④	ステンレス製	
主 要 寸 法 ⑤	地上配管：直径○mm×○m バルブ：○箇所 フランジ：○箇所	
配 置 ⑥	別図○のとおり	
設 置 年 月 日 ⑦	一年 一月 一日	年 月 日
工事着手予定年月日⑧	令和○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日⑧	令和○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日⑧	令和○年 ○月 ○日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

記入要領 [別紙 1 3]

- ① **工場又は事業場における施設番号**
別紙 1 の①に同じ
- ② **有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別**
該当するものを記入すること。
- ③ **設備**
施設に付帯する配管、バルブ類、ポンプ設備、排水溝、ためます等の設備の名称を記入すること。
- ④ **構造**
設備の構造、材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記入すること。
- ⑤ **主要寸法**
設備のうち、主なものについて寸法を記入すること。
- ⑥ **配置**
建物の名称・位置等を記入するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を記入すること。
併せて事業所周辺の見取図として、5 万分の 1 又は 5 千分の 1 の地図に事業場の場所を明示するか、付近見取図を添付すること。
- ⑦ **設置年月日**
別紙 1 の⑧に同じ。
- ⑧ **工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日**
別紙 1 の⑨に同じ。

別紙14[記入例]

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号 ①	1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別 ②	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所 ③	別図〇のとおり	
操業の系統 ④	〇〇施設への供給（図△参照）	
使用時間間隔 ⑤	1週間に1回	
1日当たりの使用時間⑥	1時間/日	
使用の季節的変動⑦	なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）⑧		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）⑨	〇〇〇〇	
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

記入要領 [別紙 1 4]

- ① **工場又は事業場における施設番号**
別紙 1 の①に同じ
- ② **有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別**
該当するものを記入すること。
- ③ **設置場所**
設置場所図により明らかにすること。
- ④ **操業の系統**
操業系統図により明らかにすること。
- ⑤ **使用時間間隔**
それぞれ当該施設において、有害物質を含む水の供給・受給が行われる頻度、及び使用する時間帯を記入すること。
- ⑥ **一日当たりの使用時間**
別紙 2 の⑥に同じ。
- ⑦ **使用の季節的変動**
別紙 2 の⑦に同じ。
- ⑧ **原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び 1 日当たりの使用量**
別紙 2 の⑧に同じ。有害物質使用特定施設の場合にのみ記載すること。
- ⑨ **貯蔵する有害物質の種類**
有害物質貯蔵指定施設の場合には、貯蔵している有害物質（施行令第 2 条に掲げるもの）の種類を記入すること。

別紙15[記入例]

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。） ①</p>	<p>搬入①：タンクローリーから原料貯蔵タンクに搬入 1週間に○回、○時間 搬出①：配管を通り、貯蔵タンクから特定施設である○○施設に供給 連続供給、1日○○L 搬入②：配管を通り、有害物質を含む廃液を廃液貯蔵タンクに搬入 連続供給、1日○○L 搬出②：産業廃棄物処理業者が用意したタンクにホースにて搬出 1週間に○回、○時間 別図○○参照 （搬入から搬出までの系統がわかる図面）</p>		
<p>用途別用水使用量②</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量(m³/日)</p>
	<p>製造用水</p>	<p>地下水</p>	<p>○○</p>
	<p>生活用水</p>	<p>上水道</p>	<p>○○</p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>
	<p></p>	<p></p>	<p></p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

記入要領【別紙15】

① 施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統

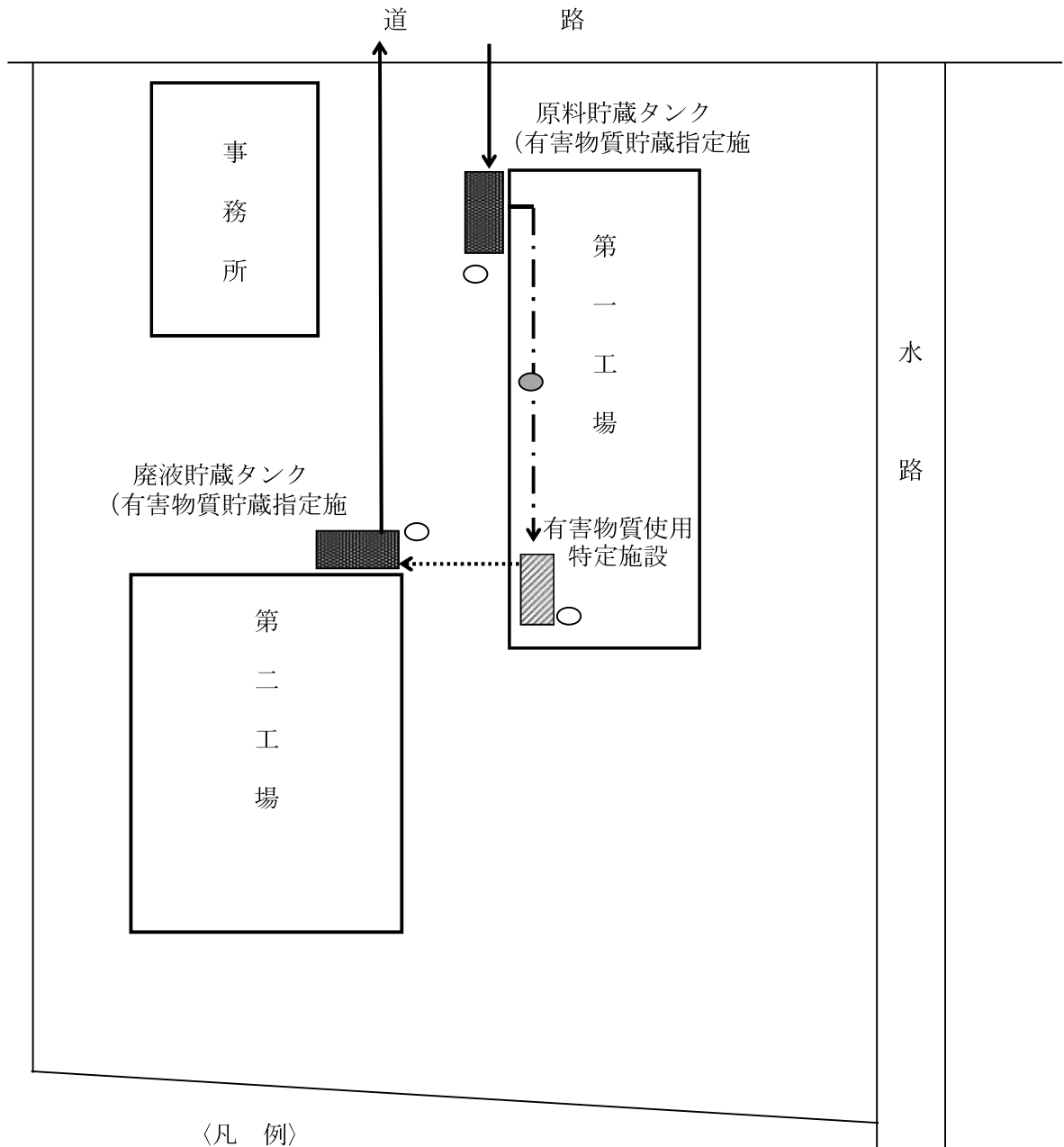
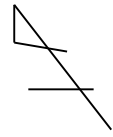
有害物質使用特定施設の場合には、用水及び排水の系統を記載すること。また、有害物質貯蔵指定施設の場合には搬入から搬出の系統を記載すること。必要に応じ、系統がわかる図面を添付すること。

② 用途別用水使用量

有害物質使用特定施設の場合にのみ、用途毎に用水の使用量を記載すること。別紙6の②、③に同じ。

添付図面の記載例(5)

- (1) 有害物質貯蔵指定施設等の施設及び設備の配置場所図
 (2) 有害物質貯蔵指定施設における搬入から搬出の系統図



〈凡 例〉

- 有害物質の搬入（ローリー）、搬出（産廃ローリー車）経路
- · - · - 地上配管
- 地下配管（地下埋設）
- 漏えい検知設備
- バルブ

2 水質汚濁防止法に係る届出関係様式集

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

年 月 日

大分県知事 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人に
あつてはその代表者の氏名

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			※整理番号	
工場又は事業場の所在地			※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の種類		※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

申請の概要

※今回、届出及び申請をするに至った理由を記入すること。変更の場合は、変更内容を併せて記入すること。

備考 申請の目的及び特定施設、汚水等処理施設等に関する申請の概要について記入するとともに、排水量及び負荷量の増減については、概要を記入し、なるべく排水口ごとに表にまとめること。

特定事業場の概要					
資本金	円	従業員数	人	業種	
				産業分類細分類番号	
主要生産品目及び月生産量					
主要原材料の品目、用途及び使用量					
特定施設の種類及び数					
作業工程					
排水処理の方法及びその系統図					
担当者	課		TEL		(内線)

備考 申請前と申請後で上記の内容が異なるものについては、申請前及び申請後に分けて記入すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号番号及び名称		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年	月	日	年	月	日		
工事着手予定年月日		年	月	日	年	月	日		
工事完成予定年月日		年	月	日	年	月	日		
使用開始予定年月日		年	月	日	年	月	日		
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排水水の量		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排出系統別の汚染状態及び量

指定項目の別										
業 種 その他 の区分	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
	通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常	最大	
	特定排水水									
合計										
種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	特定排水水以外の排水水									
合計										
その他の 参考事 と項										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、Q_{cj}の項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>			
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設号番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年	月	日	年	月	日		
工事着手予定年月日		年	月	日	年	月	日		
工事完成予定年月日		年	月	日	年	月	日		
使用開始予定年月日		年	月	日	年	月	日		
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置									
浸透施設の数									
浸 透 水	工場又は事業場 における施設番号								
	量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考と なるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の系統</p>			
<p>用途別 用水使用量</p>	<p>用途</p>	<p>使用水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>

別紙12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
床 面 及 び 周 囲		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 置 場 所		
操 業 の 系 統		
使 用 時 間 間 隔		
1日当たりの使用時間		
使用の季節的変動		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）		
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>			
<p>用途別用水量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水量(m³/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

様式第 5 (第 7 条関係)

氏 名 等 変 更 届 出 書

年 月 日

大分県知事 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

氏名（名称、住所、所在地）に変更があつたので、水質汚濁防止法第 10 条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		※整理番号	
	変更後		※受理年月日	年 月 日
変 更 年 月 日		年 月 日	※施設番号	
変 更 の 理 由			※備 考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

氏 名 等 変 更 届 出 書

年 月 日

大 分 県 知 事 殿

住所

届出者

氏名

氏名（名称、住所、所在地）に変更があったので、

大気汚染防止法第 11 条（第 17 条の 13 第 2 項、
第 18 条の 13 第 2 項及び第 18 条の 36 第 2 項
において準用する場合を含む。）

水質汚濁防止法第 10 条

瀬戸内海環境保全特別措置法第 9 条

ダイオキシン類対策特別措置法第 18 条

大分県生活環境の保全等に関する条例第 13 条

の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		※ 整理番号	
	変更後		※ 受理年月日	年 月 日
変 更 年 月 日		年 月 日	※ 施設番号	
変 更 の 理 由			※ 備 考	

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

工場又は事業場の名称	
工場又は事業場の所在地	

※工場又は事業場が複数ある場合は全て記載するか、一覧表を添付すること。

様式第6（第7条関係）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）使用廃止届出書

年 月 日

大分県知事 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種 類		※施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所		※備 考	
使用廃止の年月日	年 月 日		
使用廃止の理由			

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の使用廃止の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第7（第8条関係）

承 継 届 出 書

年 月 日

大分県知事 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）に係る届出者の地位を承継したので、水質汚濁防止法第11条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号		
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日	
特定施設の種 類		※施設番号		
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所		※備 考		
承 継 の 年 月 日				年 月 日
被承継者	氏名又は名称			
	住 所			
承 継 の 原 因				

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

承 継 届 出 書

年 月 日

大分県知事 殿

住所
届出者
氏名

ばい煙発生施設（揮発性有機化合物排出施設、
一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設、水銀排出施設）
特定施設
特定工場等

} に係る届出者の地位を継承したので、

大気汚染防止法第12条第3項（第17条の13第2項、第18条の13第2項及び第18条の36第2項において準用する場合を含む。）
水質汚濁防止法第11条第3項
瀬戸内海環境保全特別措置法第10条第3項
ダイオキシン類対策特別措置法第19条第3項
大分県生活環境の保全等に関する条例第14条第3項

} の規定により、次のとおり届け出ます。

{ 工場又は事業場 特定工場等 } の名称		※ 整理番号	
{ 工場又は事業場 特定工場等 指定施設 } の所在地		※ 受理年月日	
{ 施設 特定施設 指定施設 } の種類		※ 施設番号	
{ 施設 特定施設 } の設置場所		※ 備 考	
承 継 の 年 月 日	年 月 日		
被承継者	氏名又は名称		
	住 所		
承 継 の 原 因			

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第8（第9条関係）

水 質 測 定 記 録 表

排水水の汚染状態（特定地下浸透水の汚染状態）

測定年月日 及び時刻	測定場所		特定施設の 使用状況	採 水 者	分 析 者	測定項目						備 考	
	名称	排水量 (m ³ /日)											

- 備考 1 採水の年月日と分析の年月日が異なる場合には、備考欄にこれを明示すること。
 2 排水水の汚染状態及び特定地下浸透水の汚染状態は、分けて記載すること。